

子どもの目線で情報発信!

東日本大震災で津波被害



岩手県野田村

東日本大震災で津波被害にあった岩手県野田村で、子どもたちの目線で復興や地域情報を伝えていこうと、「野田村子ども新聞」がスタートしました。震災後、村にきたボランティアが縁を結び、群馬県桐生市の小学校と協力して新聞作りに取り組みことになりました。壊れた店を改装し、先月再オープンした菓子店「まるきん菓子店」の一角に事務所を置いています。【上東麻子】

群馬県の小学校が製作協力

子ども新聞社スタート

ボランティアの縁で

野田村は人口約4800人の小さな村です。大震災では津波が高さ10メートルの防潮堤を越えて村中心部を襲い、約500軒が全壊し、37人が亡くなりました。子ども新聞は、村役場に知人がいたことから、村に手伝いに来ていたボランティアグループ「チームT.O.M.O.D.A.C.H.I.」(代表・登内義也さん)が、「子どもたちが笑顔になることを」と考えたのがきっかけです。

記事は野田村 境野小が編集

ボランティアの一人、松平博政さんは子どもが群馬桐生市立境野小学校に通っています。境野小は全国小・中学校PTA新聞コンクールの入賞歴もあり、新聞作りを力を入れています。一方、野田村の小学校にはもとも新聞部がなく、今は先生も学校を元通りに運営するのに精

いっぱいです。松平さんが境野小の先生に相談したところ、喜んで協力を申し出てくれました。野田村の子どもたちが書いた原稿は、松平さんが持ち帰り、境野小の新聞委員の子どもたちが編集をして、新聞に仕上げることになりました。完成したら野田村に送り返し、学校や仮設住宅にも配る予定です。

今ところ小学4年生と中学1年生の9人が集まり、さらにスタッフを募集しています。事務所はまるきん菓子店の休憩スペースを借り、ファクスやカメラも寄付で集まりました。登内さんは「大人が復興に取り組む姿を、子どもが見て伝えていくことは、大人にも元気を与えるはず。ゆくゆくは子どもたちだけでやっていけるようにお手伝いしたい」と話しています。

子ども新聞社の拠点になるまるきん菓子店は、3代続く村で唯一の菓子店。和菓子職人の大沢心さん(26)と両親、おばさんの4人で切り盛りしています。3月11日、津波で店はぐちゃぐちゃになりましたが、ボランティアの力を借りてがれきりや泥を片付け、壊れた冷蔵庫やオープンも借金をして買い替えて、よ

を計画したところ、集まった子ども約40人のうち11人が「やりたい」と手を挙げ、早速チームに分かれて取材を開始。村長さんに直撃インタビューをしたり、近くの喫茶店に取材へ。戻ってきた子どもたちは目を輝かせながら「楽しかった」「おじちゃん、またやってよ」と盛り上がったそうです。このため新聞作りの支援を続けることに決めました。

「再開できたのはボランティアさんたちのおかげです」と話すまるきん菓子店の大沢心さん(左から2番目)＝岩手県野田村で6月4日

復興菓子店を活動拠点に



うやく開店にこぎつけました。お客さんに「よくやったね」「待ってたよ」と声をかけられた時はうれしかったといえます。心さんは「もっと被害の深刻な地域のことを考えると、先に復興するのは申し訳ない気もします。でも、まずは自分たちがしっかりしないと。大好きな村のためにがんばりたい」と話しています。



ただいま取材中!

まるきん菓子店オープンの日、お客さんに取材する子ども記者たち＝岩手県野田村で5月28日、登内さん提供

都市と自然 二つのアメリカ 毎小主催・夏休み体験学習型の旅 記者が同行

地球環境教室 in アラスカ

7月23～29日 5泊7日

手つかずの自然を体験

【対象】小・中・高校生とその保護者(親、祖父母)
 【旅行代金】おひとり11歳以下373,000円/12歳～高校生447,000円/大人452,000円
 ※燃油サーチャージ(目安53,000円/5月23日現在)、成田空港利用税等、米国土道渡航が別途必要です
 【募集人数】ご家族参加で計30人

- 7/23日【午後】成田発(航空機)。(現地午前)シアトル経由アンカレジ着。デナリ国立公園へ。＜デナリ泊＞
- 7/24日【午前】デナリ国立公園(スツァー(約7時間)。ネナ川ラフティング(川下り、約2時間)。デナリでキャンプ体験。＜デナリキャンプサイトでテント泊＞
- 7/25日【午後】ハイヤーズ湖畔でハイキング体験。タルキートナへ。＜タルキートナ泊＞
- 7/26日【午前】アンカレジへ。現地学生と交流(予定)。地震公園。＜アンカレジ泊＞
- 7/27日【午後】アラスカ鉄道で港町ウィットリアへ。プリンスウィリアム湾氷河クルーズ。＜アンカレジ泊＞
- 7/28日【朝】アンカレジ発(航空機)シアトル経由。＜機中泊＞
- 7/29日【午前】成田着。解散。

みんな地球人 in ニューヨーク

8月23～29日 5泊7日 残りわずか

9.11の現場で平和を考える

【対象】小・中・高校生とその保護者(親、祖父母)
 【旅行代金】おひとり小学生388,000円/大人(中学生以上)408,000円 ※燃油サーチャージ(目安50,000円/5月23日現在)、成田空港利用税等、米国土道渡航が別途必要です
 【募集人数】ご家族参加で計30人

- 8/23日【午前】成田発(航空機)【現地午前】ニューヨーク着。ニューヨーク市内観光(リバティアイランドで自由の女神像/ウォール街・ニューヨーク証券取引所/ブルックリン・ブリッジ)。＜ニューヨーク泊＞
- 8/24日【午後】平和学習【ニューヨーク警察本部訪問。グラウンド・ゼロ訪問。市警察・消防隊によるセレモニー。9.11追悼祈年祭。国連本部内部見学。ヤンキースタジアムでアスレチックスリムス体験。＜ニューヨーク泊＞
- 8/25日【午後】現地学生と交流(予定)。市内観光(エンパイアステートビル/タイムズスクエア)。＜ニューヨーク泊＞
- 8/26日【午前】市内観光(セントラルパーク/コロンビア大学)。アメリカ自然史博物館でナイトミュージアム(学生のみ)。＜学生：ナイトミュージアム泊、保護者：ニューヨーク泊＞
- 8/27日【航空機】ワシントンD.C.へ。ワシントン市内観光(スミソニアン博物館/ホワイトハウス/リンカーンメモリアル/ワシントンモニュメント＝外観)。＜ワシントン泊＞
- 8/28日【午前】ペンタゴンメモリアルハウス見学。【午後】ワシントンD.C.発(航空機)＜機中泊＞
- 8/29日【午後】成田着。解散。